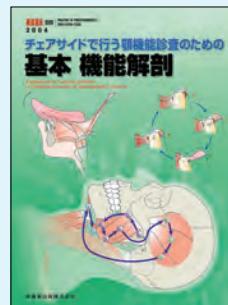


## 医歯薬出版 新刊・好評既刊のご案内

▶補綴治療のうえで最低限必要な「機能している生体を対象とした解剖学の基本」を整理！



補綴臨床  
別冊

### チエアサイドで行う顎機能診査のための 基本機能解剖

井出吉信・小出馨 編

- 補綴治療においては患者の機能を診断することは必須であるが、「機能している生体を対象とした解剖学」については、これまで情報として十分には提供されていない。
- 本書では、補綴治療を行ううえでぜひとも理解しておかなければならぬ「顎口腔機能をつかさどる組織」と「それによりつかさどられる機能」との関係などを、フルカラーのシェーマ、臨床写真、剖出写真などにより体系的に整理。

好評発売中！

■A4判変型・160頁・オールカラー ■定価6,300円（本体6,000円+税5%）注文コード：370360

#### CONTENTS

- CHAPTER 1 顎口腔系の機能解剖 咀嚼筋群の機能解剖 舌骨上筋群の機能解剖 舌骨下筋群の機能解剖 舌の筋群の機能解剖 後頭部筋群の機能解剖 側頸部筋群の機能解剖 表情筋の機能解剖 顎関節の機能解剖 鞘帯の機能解剖
- CHAPTER 2 顎関節と筋の評価 臨床で有効な顎関節の診査4種 臨床で有効な筋触診法
- CHAPTER 3 症例報告 クラウン・ブリッジにより補綴治療を行った症例 パーシャルデンチャーにより補綴治療を行った症例 コンプリートデンチャーにより補綴治療を行った症例

▶21世紀の今のワールドスタンダードな咬合理論のガイドラインと臨床応用を簡潔に整理した待望の書！

### オクルージョン&クリニカルプラクティス エビデンスに基づいたアプローチ

Iven Klineberg・Rob Jagger 編／菅野太郎 監訳／林栄成・猪飼絢代・中村圭祐 訳

- ヨーロッパとオセアニアの専門家の執筆による、開業臨床医や研修歯科医向けに構成した咬合の最新テキスト。エビデンスを踏まえたワールドスタンダードな咬合理論のガイドラインと臨床応用が簡潔にまとめられた、読みやすくわかりやすい、コンパクトな一冊。最新の咬合に関するエビデンスが凝縮されており、「咬合に関して知られていることと知らないことの境界を示し、また患者にとって必要なものと必要でないものを区別するための最新の判断基準」を提示するとともに、インプラント修復に関する咬合の臨床的マネジメントの実践的なガイドラインも提示。
- 各章には要約、キーポイント、文献を備え、また日本の臨床家にとってわかりづらい表現・専門用語には「訳者註」をつけるなど、より読みやすい構成としている。

■B5判・196頁・2色刷 ■定価6,300円（本体6,000円+税5%）ISBN978-4-263-44246-3



▶お口の力に注意！歯を失わないために！ブラキシズムを解説した患者さん向けのビジュアルブック

### ブラキシズム

歯ぎしり・咬みしめは危険！

牛島 隆・柄原秀紀・永田省藏・山口英司 著

- 気づきにくい“ブラキシズム”をどのように発見したらよいか、また歯科医院や家庭で正しく対応することの大切さを、イラストレイティッドにわかりやすく説明した、絵本タイプの患者さん向けビジュアルブックです。
- なぜ歯が割れたり、補綴物がこわれたり、顎関節や筋が痛くなったりするのか。そして、その予防のための先回り処置がなぜ必要なかなどをわかりやすく解説しています。好評の待合室シリーズとともに、待合室に置くなどしてご活用ください。

■A4判変型・40頁・オールカラー ■定価2,520円（本体2,400円+税5%）ISBN978-4-263-46410-6



▶日本歯科医学会の編集によりわが国歯科医学用語の約2万2千語を集積！

### 日本歯科医学会学術用語集

日本歯科医学会 編

かな漢字変換用CD-ROM付

- 文部科学省「学術用語集」のあとを受けた、日本歯科医学会編集による信頼の「歯科医学学術用語集」！
- 総用語数約2万2,000！日本歯科医学会分科会、さらには関連学会、関連機関の協力のもと、わが国歯科用語のほとんどすべてを網羅。国家試験用語、共用試験CBTの用語なども収載。最新の用語にも対応。
- かな漢字変換用CD-ROMによって、論文やレポートなどの作成がスピーディーに、快適に行えます。学生、研究者はもとより、歯科医学に関わるすべての人に必携の用語集！

■A5判・646頁 ■定価8,400円（本体8,000円+税5%）ISBN978-4-263-45616-3



最新刊！

弊社の全出版物の詳細情報はホームページでご覧いただけます <http://www.ishiyaku.co.jp/>

 医歯薬出版株式会社 / 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 / TEL.03-5395-7630  
FAX.03-5395-7633

2008年8月作成 TP